

2015 FIA F1世界選手権シリーズ第14戦 日本グランプリレース メディアインフォメーション Vol.3

2015 S-FJ ドリームカップレース開催のご案内

昨年に続き若手ドライバーの育成を目的とした「2015 S-FJ ドリームカップレース」をF1日本グランプリのサポートレースとして開催します。各地のサーキットで行われている7つの地方選手権のポイントランキング上位の若手ドライバー、未来のF1を目指す精鋭たちが、F1と同じ舞台で覇を競います。



2014年 S-FJ ドリームカップレースの走行シーン

F1の大舞台優勝を大きな自信に中山雄一、平川亮がスーパーフォーミュラに、 松下信治がGP2シリーズに参戦

鈴鹿サーキットは若手ドライバーの育成を目的に2010年から2012年まで、FCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)をF1日本グランプリのサポートレースとして開催しました。世界に通用する若手ドライバーの発掘と育成を目的に創設され、これまで数多くのトップドライバーを輩出してきたFCJの中でもこの1戦は特別なもの。憧れのF1と同じフィールドで大観衆が見守る中での戦い、そして勝利は他のどのレースよりも大きな自信となったのです。2010年に優勝した中山雄一と2012年の第2レースに優勝した平川亮は、ともに国内トップのスーパーフォーミュラにステップアップ。また2012年の第1レースで優勝した松下信治は全日本F3チャンピオンを経て、2015年F1への入り口とも言えるGP2シリーズへの参戦を決めています。



平川亮



中山雄一



松下信治

今年もS-FJの各シリーズから若き精鋭たちが鈴鹿サーキットに結集！！ F1チャレンジへの第一歩を記します

2013年からは入門用フォーミュラ、スーパーFJ(S-FJ)がF1日本グランプリのサポートレースとして開催。全国のサーキットで開催されているシリーズ戦のランキング上位選手、加えて年齢は29歳以下に制限され、若き精鋭たちが結集し、2013年は彼らの目標でもあるF1の大舞台の中で、当時17歳の根本悠生がポール・ポジションから優勝。昨年は2番手スタートの牧野任祐(当時17歳)とポール・ポジションの河野駿佑(当時19歳)の対決となり、スタート直後のS字コーナーで牧野がトップに浮上すると、そのまま逃げ切って優勝しました。見応えのあるレースを見せてくれた2人は、ともに今年度新設されたFIA-F4にステップアップしシリーズ参戦中。今年も精鋭たちの熱き戦いが展開されることでしょう。



2013年スタートシーン



2014年の表彰台。左から2位の大津弘樹、2014年に優勝した牧野任祐の走り
優勝した牧野任祐、3位の河野駿佑



2015 S-FJ ドリームカップレース エントリーについて

各S-FJ地方選手権シリーズの上位ドライバーを対象に、8月10日(月)～16日(日)の間、エントリーを受付いたします。なお、詳細は鈴鹿サーキット レース事務局までお問い合わせください。

■ドライバーの参加資格:以下の1)～4)を満たすこと

- 1)ドライバーの年齢は29歳以下【9月27日(日)時点】であること
- 2)有効な運転免許証(限定国内競技運転者許可証A所持者は除く)を所持していること
- 3)2015日本レース選手権規定 第3章 第19条3. S-FJの参加資格を有すること。
- 4)8月2日(日)時点での各S-FJ地方選手権シリーズ(東北、もてぎ、筑波、富士、鈴鹿、岡山、オートポリス)上位10名の中から29歳以下の上位7名であること。
(※最大定員を超えた場合、各シリーズ上位5名を優先、6,7位は先着順とする。)

■募集台数:35台(最大決勝出走台数)

■受付期間:8月10日(月)10:00～8月16日(日)23:59まで

※資格対象者は鈴鹿サーキットホームページ上で発表します。

※WEB受付とさせていただきます。

【お問い合わせ先】

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット レース事務局
TEL: 059-378-3405 FAX: 059-378-3625 (受付時間: 9:30～16:00)